

衆議院議員一行との意見交換及び 接合科学研究所 HUST-UOsaka 視察を実施

勝又 美穂子

グローバル D&I 推進室 准教授

2026 年 9 月 2 日（水）及び 3 日（木）の 2 日間にわたり、ベトナムを訪問中の斎藤洋明衆議院議員、盛山正仁衆議院議員、浮島智子衆議院議員、青山周平衆議院議員、そして文部科学省関係者の皆様との意見交換及び接合科学研究所 HUST-UOsaka の視察が行われました。

9 月 2 日（水）は、在ベトナム日本国大使公邸サロンにおいて、伊藤直樹駐ベトナム日本国特命全権大使ご出席のもと議員団の皆様と、ベトナムにおいて教育・研究活動を展開する日本の大学・研究機関との交流及び意見交換が行われました。

当日は、長崎大学熱帯医学研究所、立命館大学 ASEAN 事務所、名古屋大学／ベトナム法科大学日本語コースから、それぞれベトナムにおける教育・研究、人材育成等の活動について紹介が行われました。また本研究所からは、大阪大学接合科学研究所がハノイ工科大学（HUST）をはじめとする現地大学や企業等と連携して進めてきた研究・教育活動、産学連携及び人材育成の取り組みについて紹介しました。

その後の意見交換では、今後の日本とベトナムとの交流を支える人材の育成において重要となる視点や、近年、日本への留学・就職等に対する相対的な吸引力の低下が懸念される中、優秀な人材を日本との教育・研究交流へどのようにつなげていくかなどについて、活発な意見が交わされました。

翌 9 月 3 日（木）には、議員の皆様及び文部科学省関係者の皆様が、ハノイ工科大学キャンパスに隣接した「接合科学研究所 HUST-UOsaka」を訪

問されました。当日は、ハノイ工科大学から Huynh Dan Chinh 副学長、Chu Manh Hung 国際部副部長、Pham Van Sang 機械工学部副部長らが出席したほか、長岡技術科学大学の山口教授をはじめとする関係者も参加しました。

はじめに、ハノイ工科大学の概要について説明が行われた後、本研究所から、ベトナムにおける溶接技術者の不足や溶接技術・品質向上の必要性を背景として、大阪大学接合科学研究所とハノイ工科大学機械工学部との連携により設立された接合科学研究所 HUST-UOsaka の設立経緯、役割及び活動について紹介しました。

続いて、研究所内を視察いただき、日本政府や JICA からの支援等により整備された溶接・接合プロセス、材料・組織観察、力学・評価等に関する研究機材・設備を紹介しました。また、同じ敷地内で長岡技術科学大学とハノイ工科大学が連携して進めている SATREPS（JST・JICA）事業についても説明が行われ、日本とベトナムの大学が現地に研究・教育基盤を構築し、継続的な人材育成や研究協力を進める取り組みについて理解を深めていただく機会となりました。

今回の 2 日間の交流を通じて、日本とベトナムの大学・研究機関が現地で展開する教育・研究活動の現状と今後の課題を共有するとともに、両国の持続的な発展を支える高度人材の育成や、大学・研究機関・産業界を結ぶ国際連携の重要性について意見を交わす貴重な機会となりました。

（写真、次ページ）



1 日目：意見交換会後

左から：伊藤大使、青山議員、盛山議員、浮島議員、斎藤議員、日本大学関係者、右：中島書記官



2 日目：HUST-UOsaka 施設見学

協働溶接ロボットのデモンストレーション



各種活動紹介、意見交換の様子



左：斎藤議員 右：Chinh 副学長